

スポーツの振興

スポーツは、精神的充足感や楽しさ、喜びをもたらし、心身の健全な発達を促すなど、人、情報、地域交流による地域コミュニティの活性化に大きな役割を果たしています。

そのため、町民誰もがそれぞれの体力や年齢、目的に応じ、気軽にスポーツができるよう、各種スポーツ大会の開催や新たなスポーツ事業の展開により、スポーツの普及と振興に努めます。

【スポーツに親しむ機会の拡充】

スポーツに親しむことにより、心身ともにリフレッシュすることができ、生活に潤いを与えることから、町民誰もが年間を通じて何らかのスポーツに親しむことのできるスポーツ環境の普及を目指します。パラリンピック種目にも採用されているボッチャについて、用具一式を購入し、競技ルールの講習会を開催するとともに幅広く町民への普及を図ります。

また、各種スポーツ大会の情報や施設利用および事業参加のPRに努め、町民のスポーツに親しむ機会の拡充に努めます。

【研修機会の充実】

日頃からスポーツに親しんでいる人であっても、準備運動不足や練習

のやり過ぎにより健康を阻害することもあります。各種団体ならびにスポーツ指導者に対する研修機会を充実し、スポーツ障害への対応を継続します。

【学校教育との連携】

水に関連した活動を行い、体験学習により環境保全について学ぶ『水に賢い子どもを育む年間型活動プログラム』を本年度も厚岸小学校で継続実施するにあたり、事業実施への側面的な支援を行います。

また、着衣泳授業の実施にあたっては、温水プール指導員による指導助言を行い、津波などを想定した防災に対する知識の定着を支援します。

【各種スポーツ団体との連携】

町の競技スポーツ活動の基盤を支えるスポーツ団体との更なる連携の強化を図るとともに、スポーツ団体が実施する各種大会に対する協力と組織運営の支援を継続します。

【海洋スポーツの推進】

海洋センター艇庫周辺の厚岸湖における児童生徒を対象としたカヌー体験事業を継続実施するとともに、町民を対象とした初心者カヌー教室を開催し、利用者の底辺拡大を図りながら、海の町ならではの体験型スポーツの振興を図ります。

また、本年度はB&Gスポーツ大会北海道大会『水上の部』が7年ぶりに本町で開催されることから、地元選手が上位入賞を果たせるよう適切な指導を積み重ねていくとともに、全道からの参加者に対して厚岸町の手と自然の素晴らしさをPRすることができるよう、万全の対応を図ります。

【温水プールの利用促進】

近年、利用者は減少傾向にありますが、町民の健康維持増進と体力向上には欠かせない施設であることから、幼児から大人までの各年代を対象とした泳法別の水泳教室や、水中ウォーキング教室を継続実施し、広く周知を行いながら、利用者の増と施設の有効活用を図ります。

【社会体育施設の充実】

本町のスポーツの拠点となっている宮園公園体育施設については、パークゴルフ場休憩舎ならびに管理棟の外壁改修と屋根の塗装を行うほか、経年劣化が進んだ温水プールの外壁と屋根の改修工事を行い、施設の長寿命化を図ります。

また、その他の施設においてもその都度適切な補修を行い、維持管理に努めます。

なお、近年『体育』という言葉よりも、より身近で親しみやすい『スポ

ーツ』という言葉が広く町民に浸透してきていることに鑑み、『体育振興課』の名称を4月から『スポーツ課』に改め、より多くの町民の心身両面にわたる健康増進を目指します。

教育委員会としては、厚岸町の未来を支える子供たちを地域全体で育む学校教育の充実と、町民一人一人が生き生きと学び続けることができる生涯学習を推進します。

そのために、総合教育会議等で町長と相互の連携を図りつつ、その使命を果たしていきます。

町民の皆さんならびに町議会議員の皆さんの、なお一層のご理解とご協力を心からお願ひ申し上げます。

